
宮崎県埋蔵文化財センター一年報

第 1 5 号

平成 2 3

(2 0 1 1)

年 度

2 0 1 1

序

本書は、宮崎県埋蔵文化財センターの概要と平成 22 年度に実施した諸事業についてまとめたものです。

当センターでは、国・県・西日本高速道路株式会社等の実施する各種開発事業に伴う発掘調査を行うとともに、出土文化財の整理、収蔵、公開を行いました。また、明らかになった郷土の歴史に関することがらを報告会等によって県民の皆様の郷土への理解に役立てるなど、埋蔵文化財の保護と活用に積極的に取り組んでいるところです。

発掘調査では、東九州自動車道建設に伴い、日向都農間 19 遺跡を実施し、また、国関連事業に伴う 3 遺跡、さらに県の事業に伴う 4 遺跡を実施いたしました。

主な発掘調査については、随時発掘体験会や調査報告会を開催して発掘の成果を一般に公開していますが、今後とも県民の皆様に郷土の歴史にじかに触れていただく機会をできるだけ多く持ちたいと考えております。

埋蔵文化財保護行政の十分な成果が得られるよう今後ともより一層の努力をしてまいりますと存じます。

関係各位の御理解と御協力をお願い申し上げます。

平成 23 年 6 月

宮崎県埋蔵文化財センター

所長 森 隆 茂

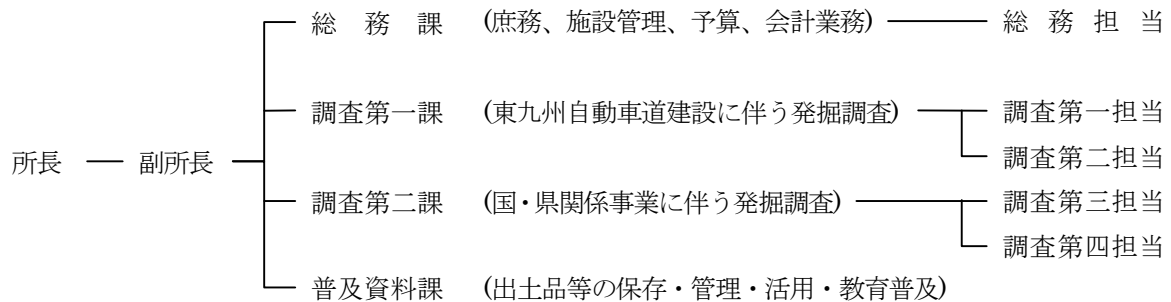
目 次

I	組織・施設	1
II	埋蔵文化財センターの沿革	3
III	平成 22 年度の活動状況	4
1	埋蔵文化財緊急調査	4
(1)	発掘調査	4
(2)	発掘調査に伴う調査指導及び職員の資料調査	9
(3)	出土遺物等整理及び発掘調査報告書の刊行	9
(4)	保存修復	11
(5)	収蔵整理	11
2	教育普及活動	12
(1)	ここまでわかったひむかの歴史～講演会と遺物公開～	12
(2)	ひむかの歴史 2010～遺跡発掘速報会～	12
(3)	埋文センター施設公開	13
(4)	出前講座	14
(5)	出前展示	15
(6)	発掘体験	15
(7)	発掘調査成果報告会	16
(8)	¥0で行く考古バックヤードの旅	16
(9)	見学・研修・体験学習等の受入れ	16
(10)	資料等の提供	17
(11)	職員派遣	20
(12)	埋蔵文化財担当専門職員研修会	20
(13)	広報出版物	20
(14)	ホームページ	20
3	会議・職員研修	21
(1)	各種会議等への参加	21
(2)	共同研究への参加	21
(3)	労働安全衛生関係の講習会等への参加	22
IV	宮崎県埋蔵文化財センター管理規則	23

I 組織・施設

組織

(平成23年4月1日現在)



所長	森 隆茂	調査第二担当		調査第二課	
副所長	北郷 泰道	主 幹	菅付 和樹	課 長	永友 良典
総務課		主 査	木場 正浩	調査第三担当	
課 長	坂上 恒俊	主任主事	徳留 洋志	副主幹	吉本 正典
副主幹	長友由美子	(高速道対策局・併)		主 査	山田洋一郎
主 査	甲斐 郁士	主 査	中武 朋文	主 査	泊 俊一郎
主 査	眞方 文成	(")		主 査	和田 理啓
(高速道対策局・併)		主 査	田中 敏雄	主 事	加藤 徹
主 事	山本 政美	(")		主 事	宗廣 睦子
調査第一課		主 査	明石 宏一	調査第四担当	
課 長	長津 宗重	(")		副主幹	大村公美恵
調査第一担当		主任主事	松本 茂	主 査	津 曲 健
副主幹	飯田 博之	(")		主 査	吉永登志孝
主任主事	柳田 晴子	主任主事	今塩屋毅行	主 査	川越 宏之
(高速道対策局・併)		(")		主任主事	二宮 満夫
主 査	橋本 英俊	主任主事	原口耕一郎	主 事	太田真理子
(")		(")		普及資料課	
主 査	松林 豊樹	主 事	石貫 弘泰	課 長	近藤 協
(")		(")		普及資料担当	
主 査	高橋 浩子	主 事	田中 達也	専門主幹	勢井 健一
(")		(")		主 査	松田 清孝
主 査	竹下 昭彦	主 事	小船井 順	(嘱託)	
(")		(")		専門員	津隈久美子
主 査	松浦 朋彦	主 事	橋本 清美		
(")		(")			
主 査	野崎 一人	主 事	山本 光俊		
(")		(")			
主任主事	二方 和也	主 事	川俣 唱子		
(")		(")			
主 事	中川みな子	主 事	橋口 由佳		
(")		(")			
主 事	大嶋 昭海	主 事	谷口めぐみ		
(")					
主 事	久保田陽香				

施設

(本館) 宮崎市佐土原町下那珂4019

① 本館 (鉄筋コンクリート造一部木造平屋建)	2,958.07 m ²
事務室	57.76 m ²
所長室	19.86 m ²
情報処理室	33.17 m ²
会議室	78.52 m ²
休憩室	78.52 m ²
調査研究室 (調査第二課)	248.55 m ²
復元整理室	293.44 m ²
一次処理室	96.81 m ²
図面整理室	61.62 m ²
写場	64.20 m ²
暗室	12.65 m ²
一次保管室 (2層)	188.00 m ²
図書室 (2層)	193.88 m ²
荷捌室	43.01 m ²
その他	276.00 m ²
小計	1,745.99 m ²
② 附属建物 (鉄骨造)	
調査研究室 (調査第一課)	301.57 m ²
③ 附属建物 (鉄骨造)	
整理作業棟	216.76 m ²
④ 附属建物 (鉄骨造)	
収蔵庫棟	693.75 m ²

(分館) 宮崎市神宮2丁目4-4

分館 (鉄筋コンクリート造2階建)	1,652.38 m ²		
1階	877.58 m ²	2階	774.80 m ²
一次処理室	121.20 m ²	写場・暗室	49.30 m ²
復元整理室	148.30 m ²	写真保管室	35.10 m ²
保存処理室	49.30 m ²	図面保管室	53.10 m ²
(鉄器	22.70 m ²)	収蔵整理室	19.30 m ²
(木器	26.60 m ²)	収蔵室	564.00 m ²
研修室	143.20 m ²	特別収蔵室	54.00 m ²
事務室	41.80 m ²		
展示室	150.00 m ²		
器材庫	11.00 m ²		
エントランスホール他	212.78 m ²		

II 埋蔵文化財センターの沿革

西暦	年月日	事項
1980	昭55	「埋蔵文化財調査センター建設計画」立案
1981	56	基本設計を実施
1982	57. 1. 9 7. 29 10. 2	起工式 竣工 宮崎県総合博物館埋蔵文化財センターとして宮崎市神宮2丁目4-4に設置。 センター長吉田敏明（兼博物館副館長）以下本務職員2名（岩永哲夫、谷口武範）、兼務職員8名、嘱託2名 発令。出土品等の整理保管と教育普及活動を行う。 開館記念講演「日本文化のふるさとをたずねて、東南アジアの旅から」 （講師：国立民俗学 博物館教授佐々木高明）。
1983	58. 4. 1	センター長細川達雄発令。本務職員を3名（茂山護、岩永哲夫、谷口武範）に増員する。
1984	59. 4. 1	（茂山転出、菅付和樹転入）
1985	60. 11. 2	文化財保護強調週間の行事として施設公開を初めて行う。
1986	61. 4. 1 61. 7	センター長久徳菊雄発令。兼務職員7名になる。 毎月第4土曜日の映写会「遺跡をたずねて」を始める。
1987	62. 3 62. 4	埋蔵文化財調査研究報告第1集「陣内第2遺跡、蓮ヶ池横穴墓群一遺物編」刊行。 埋蔵文化財講座を始める。
1988	63. 3 63. 4. 1	埋蔵文化財調査研究報告第2集「下那珂貝塚」刊行 センター長長友友蔵発令。本務職員1名（菅付和樹）、兼務職員9名となる。
1989	平1. 4. 1	センター長石井祥博発令。本務職員1名（永友良典）、兼務職員11名となる。
1990	2. 3 4. 1	埋蔵文化財調査研究報告第3集「下北方古墳一遺物編」刊行。 兼務職員が13名となる。
1991	3. 3 4. 1	埋蔵文化財調査研究報告第4集「下弓田遺跡一資料編1」刊行。 センター長木幡丈夫発令。 設備充実の一環として、軟X線撮影装置等を導入する。
1992	4. 4. 1	センター長藤崎景二発令。 埋蔵文化財センター開設10周年記念企画展「宮崎の埋文情報展'82～'91」を開催する。 脱塩装置、赤外線TVカメラシステム等を導入する。
1993	5. 4. 1 9. 15	センター長後藤健志発令。本務職員1名（長津宗重）、兼務職員15名となる。 空調設備増設
1994	6. 3. 8	特別収蔵庫設置
1995	7. 1. 29 2. 16 4. 1	一般収蔵庫増設工事完成 屋根防水工事完了 センター長関屋清志発令。本務職員1名（長津宗重）、兼務職員24名となる。 県文化課埋蔵文化財第二係（調査部門）を埋蔵文化財センターに置く。
1996	8. 4. 1	宮崎県埋蔵文化財センターとして総合博物館から分離独立し、庶務係、調査第一係、第二係、教育普及係（第二係兼務）を置く。 所長藤本健一以下職員37名、嘱託1名発令。 鶴島分室（旧婦人相談所：宮崎市鶴島2丁目11-25）を設置し、調査第一係（東九州自動車道担当）を置く。
1997	9. 3. 17 4. 1	分室を国富（旧国富農業改良普及センター：国富町大字本庄4777-2）に移転する。 職員37名、嘱託7名となる。
1998	10. 4. 1	所長田中守発令。職員39名、嘱託8名となる。
1999	11. 4. 1	職員42名、嘱託8名となる。
2000	12. 1. 20 4. 1	佐土原町に新館が完成し、国富分室を統合廃止する。神宮の日本館を分室とする。 所長矢野剛発令。課制となり、総務課、調査第一課、調査第二課、普及資料課を置く。 職員52名、非常勤12名となる。 分館（研修室、事務室、図面保管室、写真保管室）改築工事完成
2001	13. 4. 1 7. 1	職員59名、非常勤16名となる。 調査第一課調査研究室設置
2002	14. 4. 1	所長米良弘康発令。職員63名、非常勤17名となる。
2003	15. 4. 1	職員64名、非常勤15名となる。
2004	16. 4. 1	所長宮園淳一発令。職員62名（うち任期付き職員13名採用）、非常勤職員12名となる。 収蔵庫用に旧繭検定工場を農政企画課から所管換え。
2005	17. 3. 8 4. 1 8. 18 11. 16	収蔵第一期工事完成 職員61名（うち任期付き職員7名採用）、非常勤職員9名となる。 収蔵第二期工事完成 調査一課整理棟の設置。（東畦原整理作業棟撤去に伴い貸借開始）
2006	18. 4. 1	所長清野勉発令。職員64名（うち任期付き職員18名）、非常勤職員8名となる。
2007	19. 6. 1	職員64名（うち任期付き職員19名）、非常勤職員3名となる。
2008	20. 4. 1	所長福永展幸発令。職員61名（うち任期付き職員16名）、非常勤職員2名となる。調査第一課整理棟撤去。
2009	21. 4. 1	職員59名（うち任期付き職員18名）、非常勤職員1名となる。
2010	22. 4. 1	所長森隆茂発令。職員62名（うち任期付き職員18名）、非常勤職員1名となる。
2011	23. 4. 1	職員53名（うち任期付き職員15名）、非常勤職員1名となる。

Ⅲ 平成22年度の活動状況

埋蔵文化財センターは次に掲げる業務を行っている。

- 1 埋蔵文化財の調査研究
- 2 出土品その他の資料の保存及び活用
- 3 埋蔵文化財の調査研究に係る図書その他の資料の整備
- 4 埋蔵文化財関係者の専門的・技術的な研修及び指導
- 5 埋蔵文化財保護思想の普及及び啓発

平成22年度は以下に記述する事業を実施した。

1 埋蔵文化財緊急調査

(1) 発掘調査

東九州自動車道や国道をはじめ、国、県施設の建設に伴う試掘・確認調査や発掘調査を実施している。本年度は十郎ヶ尾遺跡（延岡市北方町）、俵石第2遺跡（都農町）、上ノ原第1遺跡（宮崎市）、飢肥城下町遺跡（日南市）などの本調査と東九州自動車道関連の確認調査を実施した。

試掘・確認調査一覧

	遺跡名	所在地	主な時代	主な遺構	主な遺物	調査期間	調査面積	調査担当者	調査原因
1	坂元第2遺跡	日向市 大字平岩	弥生～ 古墳	なし	土器（高坏） 等 (遺物1箱)	H23. 3. 10 } H23. 3. 11 (実調査日数 2日)	50 m ²	松浦朋彦 飯田博之	東九州 自動車道 (日向～ 都農間) 建設
2	長野遺跡	児湯郡 都農町 大字川北	旧石器 弥生	竪穴建物跡	剥片 弥生土器	H23. 3. 1 } H23. 3. 4 (実調査日数 4日)	100 m ²	松本 茂 明石宏一	東九州 自動車道 (日向～ 都農間) 建設

発掘調査一覧

	遺跡名	所在地	主な時代	主な遺構	主な遺物	調査期間	調査面積	調査担当者	調査原因
1	馬込遺跡 第1地点 (1次)	日向市 大字平岩	—	なし	なし	H22. 5. 17 H22. 5. 21 (実調査日数 2日)	130 m ²	津曲 健 飯田博之	東九州 自動車道 (日向～ 都農間) 建設
2	馬込遺跡 第1地点 (2次)	日向市 大字平岩	—	なし	なし	H22. 12. 20 (実調査数 1日)	20 m ²	津曲 健 竹下昭彦	東九州 自動車道 (日向～ 都農間) 建設

	遺跡名	所在地	主な時代	主な遺構	主な遺物	調査期間	調査面積	調査担当者	調査原因
3	中ノ別府 第3遺跡	日向市 大字平岩	—	なし	なし	H22. 9. 29 (実調査日数 1日)	80 m ²	松浦朋彦 黒木誠司	東九州 自動車道 (日向～ 都農間) 建設
4	岡遺跡 (4次)	日向市 大字平岩		なし	なし	H22. 6. 7 } H22. 6. 8 (実調査日数 2日)	100 m ²	泊俊一郎 大嶋昭海	東九州 自動車道 (日向～ 都農間) 建設
5	岡遺跡 (5次)	日向市 大字平岩	縄文 中世	ピット	縄文土器 陶磁器 (遺物1箱)	H22. 6. 7 } H22. 6. 9 (実調査日数 3日)	60 m ²	竹下昭彦 中川みづ子	東九州 自動車道 (日向～ 都農間) 建設
6	岡遺跡 (6次)	日向市 大字平岩	縄文 古代 中・近世	集石遺構 炉穴	縄文土器 土師器 土師器 陶磁器 (遺物17箱)	H22. 7. 7 } H23. 2. 25 (実調査日数 121日)	1,870 m ²	泊俊一郎 大嶋昭海 久保田陽香	東九州 自動車道 (日向～ 都農間) 建設
7	岡遺跡 (7次)	日向市 大字平岩	縄文 古墳 古代 中・近世	掘立柱建物 跡	縄文土器 土師器 土師器 陶磁器 (遺物25箱)	H22. 7. 20 ～ H22. 11. 19 (実調査日数 67日)	3,560 m ²	津曲 健 竹下昭彦 中川みづ子	東九州 自動車道 (日向～ 都農間) 建設
8	岡遺跡 (8次)	日向市 大字平岩	なし	なし	なし	H22. 12. 21 ～ H22. 12. 22 H23. 2. 22 (実調査日数 3日)	100 m ²	竹下昭彦 久保田陽香	東九州 自動車道 (日向～ 都農間) 建設
9	金ヶ浜 第2遺跡	日向市 大字平岩	古墳	なし	土師器 (遺物1箱)	H22. 5. 25 ～ H22. 5. 26 H22. 7. 6 (実調査日数 3日)	10 m ²	飯田博之 久保田陽香	東九州 自動車道 (日向～ 都農間) 建設
10	金ヶ浜 第3遺跡	日向市 大字平岩	—	なし	なし	H22. 11. 1 (実調査日数 1日)	16 m ²	津曲 健 久保田陽香	東九州 自動車道 (日向～ 都農間) 建設

	遺跡名	所在地	主な時代	主な遺構	主な遺物	調査期間	調査面積	調査担当者	調査原因
11	坂元第2遺跡	日向市 大字平岩	—	なし	なし	H22. 5. 25 ～ H22. 5. 26 (実調査日数 2日)	10 m ²	竹下昭彦 結城 修	東九州 自動車道 (日向～ 都農間) 建設
12	坂元第3遺跡	日向市 大字平岩	—	なし	なし	H22. 9. 30 (実調査日数 1日)	15 m ²	松浦朋彦 黒木誠司	東九州 自動車道 (日向～ 都農間) 建設
13	向原中尾 第1遺跡 (2次)	日向市 東郷町 山陰	旧石器 縄文 弥生	なし	石核、剥片 石鏃 長頸壺片 (遺物2箱)	H22. 6. 28 } H22. 12. 24 (実調査日数 47日)	1,025 m ²	南健太郎 山本光俊	東九州 自動車道 (日向～ 都農間) 建設
14	向原中尾 第2遺跡 (1・2次)	日向市 東郷町 山陰	旧石器 縄文早期 弥生	集石遺構 竪穴建物跡	石核、剥片 土器、剥片、磨製 石斧など 土器、炭化材 (遺物16箱)	H22. 6. 21 } H22. 7. 6 H22. 8. 11 } H22. 12. 28 (実調査日数 72日)	1,320 m ²	南健太郎 山本光俊	東九州 自動車道 (日向～ 都農間) 建設
15	向原中尾 第4遺跡 (3次)	日向市 東郷町 山陰	旧石器 縄文早期 縄文中期 弥生 アホ村以降	礫群 陥し穴状遺構	ナイフ形石器、尖 頭器、細石刃核、 細石刃、石刃 土器片(無文、押 型文)、石鏃、石 錘、石核、剥片 土器片(船元式) 土器片(土製円盤) (遺物8箱)	H22. 4. 26 } H22. 12. 28 (実調査日数 128日)	5,430 m ²	橋本清美 明石宏一	東九州 自動車道 (日向～ 都農間) 建設
16	舟川第2 遺跡 (2次)	児湯郡 都農町 大字川北	旧石器 縄文早期	礫群 土坑 集石遺構、	ナイフ形石器、剥 片、 土器片(押型文)、 石鏃、剥片、チャブ (遺物7箱)	H22. 4. 14 } H22. 8. 20 (実調査日数 62日)	1,400 m ²	石貫弘泰 早瀬 航	東九州 自動車道 (日向～ 都農間) 建設

	遺跡名	所在地	主な時代	主な遺構	主な遺物	調査期間	調査面積	調査担当者	調査原因
17	舟川第3遺跡 (1・2次)	児湯郡 都農町 大字川北	縄文晩期 弥生	なし	土器片、石鏃 土器片 (遺物1箱)	H22. 5. 6 } H22. 5. 28 H22. 12. 10 } H22. 12. 14 (実調査日数 16日)	580 m ²	南健太郎 徳留洋志 松本 茂 石貫弘泰	東九州 自動車道 (日向～ 都農間) 建設
18	舟川中原 遺跡 第1地点	児湯郡 都農町 大字川北	旧石器 縄文早期	なし	剥片 土器片 (遺物3点)	H22. 4. 20 } H22. 4. 21 (実調査日数 2日)	15 m ²	今塩屋毅行	東九州 自動車道 (日向～ 都農間) 建設
19	内野々 遺跡 (2次)	児湯郡 都農町 大字川北	縄文	なし	剥片 (遺物1点)	H22. 4. 23 } H22. 4. 26 (実調査日数 2日)	20 m ²	今塩屋毅行	東九州 自動車道 (日向～ 都農間) 建設
20	内野々 第3遺跡	児湯郡 都農町 大字川北	縄文 弥生～ 古墳	なし	剥片 磨製石鏃 土器片 (遺物13点)	H22. 5. 17 } H22. 5. 24 (実調査日数 4日)	280 m ²	山本光俊 谷口めぐみ	東九州 自動車道 (日向～ 都農間) 建設
21	下原遺跡 (3次)	児湯郡 都農町 大字川北	縄文早期	なし	土器片(無文)、 石鏃、剥片、チャブ (遺物3箱)	H22. 5. 24 } H22. 7. 23 (実調査日数 33日)	910 m ²	川俣唱子 谷口めぐみ	東九州 自動車道 (日向～ 都農間) 建設
22	木戸平 第2遺跡 (4次)	児湯郡 都農町 大字川北	縄文早期 弥生～ 古墳	土坑 竪穴建物跡	土器片、石鏃、剥片 土器片、鉄器、石 斧、石錘、管玉 (遺物31箱)	H22. 10. 18 } H23. 1. 31 (実調査日数 62日)	800 m ²	徳留洋志 結城 修	東九州 自動車道 (日向～ 都農間) 建設
23	俵石第2 遺跡 (2次)	児湯郡 都農町 大字川北	旧石器 縄文 弥生	礫群 散礫、集石 遺構、土坑	ナイフ形石器、尖 頭器、石斧、石核、 細石刃核、細石 刃、剥片 土器片、石鏃、石 核、剥片 土器 (遺物26箱)	H22. 4. 12 } H23. 2. 17 (実調査日数 84日)	3,320 m ²	橋口由佳 原口耕一郎 明石宏一 川俣唱子 黒木誠司 松浦朋彦	東九州 自動車道 (日向～ 都農間) 建設

	遺跡名	所在地	主な時代	主な遺構	主な遺物	調査期間	調査面積	調査担当者	調査原因
24	俵石第1遺跡(2次)	児湯郡都農町大字川北	旧石器 縄文早期	礫群	ナイフ形石器、細石刃核、敲石、石核、剥片 土器片、石鏃(遺物 3箱)	H22. 11. 1 } H22. 12. 24 (実調査日数 37日)	255 m ²	谷口めぐみ 吉野達三	東九州自動車道(日向～都農間)建設
25	宮ヶ迫遺跡	宮崎市佐土原町上田島	古墳・古代・中世	竪穴建物、掘立柱建物、溝状遺構、土坑	土師器、須恵器耳環(遺物 40箱)	H22. 8. 2 } H22. 11. 12 (実調査日数 68日)	2,500 m ²	山田洋一郎 竹田享志	県道宮崎高鍋線(那珂工区)道路改良工事
26	上ノ原第1遺跡	宮崎市阿波岐原町	古墳・古代	土器集中箇所	土師器、須恵器(遺物 10箱)	H22. 7. 23 } H22. 9. 10 (実調査日数 15日)	1,300 m ²	和田理啓 加藤 徹	県道宮崎島之内線(産母工区)道路改良工事
27	坂ノ口遺跡	串間市大字本城	縄文・古墳	竪穴建物、ピット	縄文土器、土師器、陶磁器、(遺物 10箱)	H22. 8. 19 } H22. 10. 28 (実調査日数 36日)	480 m ²	宗廣睦子 黒木俊彦	国道448号線(上千野～代田工区)道路改良工事
28	富吉前田遺跡	都城市山之口町富吉	弥生・古代・中世・近世	掘立柱建物土坑、井戸、溝、鍛冶関連遺構	土師器、須恵器、陶磁器、金属製品(遺物 3箱)	H22. 11. 11 } H22. 12. 10 (実調査日数 20日)	520 m ²	二宮満夫 宗廣睦子	国道269号線(富吉工区)道路改良工事
29	飫肥城下町遺跡	日南市飫肥	縄文 弥生 近世 近代	集石遺構 なし 柱穴、土坑、井戸、池 石造り暗渠、石組み水溜め	縄文土器、石製品 弥生土器 陶磁器、瓦、土師質土器、金属製品 陶磁器、瓦、ガラス製品 (遺物101箱)	H22. 7. 12 } H22. 10. 21 (実調査日数 65日)	1,034 m ²	二宮満夫 太田真理子 黒木俊彦 結城 修	宮崎地家裁日南支部新営工事
30	延岡城内遺跡	延岡市桜小路	近世	溝状遺構、畝状遺構、土坑、柱穴	陶磁器、瓦質土器、土師器、瓦、須恵器、金属製品、鉄滓等(遺物18箱)	H22. 10. 18 } H22. 12. 22 (実調査日数 41日)	200 m ²	太田真理子 黒木俊彦	延岡拘置支所新営工事
31	十郎ヶ尾遺跡	延岡市北方町子南久保山	旧石器 縄文早期 弥生～古墳	なし 散礫 竪穴建物、配石炉	剥片尖頭器、石器 押型土器、石器 弥生土器 (遺物14箱)	H22. 11. 1 } H23. 2. 16 (実調査日数 60日)	1,000 m ²	川越宏之 山田高大 黒木俊彦	一般国道218号北方延岡道路建設

(2) 発掘調査に伴う調査指導及び職員の資料調査

慎重な調査を要する遺跡の調査にあたって、調査方法等の指導を受けるため各分野の専門の研究者を招聘した。また、時代のはっきりしない遺物や考古学以外の分析を必要とする遺物について職員を派遣し指導を受けた。

調査指導

所属・氏名	指導内容	場所	日程
鹿児島県歴史資料センター 黎明館 主任学芸専門員 東 和幸 都城市教育委員会 文化財課 副主幹 栗畑 光博	都城東環状線建設に伴う働女木遺跡 出土土器調査指導	埋蔵文化財センター本館	H22. 10. 28～29

資料調査

目的	出張先	日程	出張者
東九州自動車道（県境～北川間）建設に伴う 家田古墳群・家田城跡整理作業に係る関連遺 物資料調査	延岡市教育委員会	H22. 11. 29	飯田博之 早瀬 航
宮崎地家裁日南支部新営工事に伴う飫肥城 下町遺跡報告書作成に係る資料調査	日南市国際交流センター 小村記念館	H23. 3. 11、3. 18	二宮満夫

(3) 出土遺物等整理及び発掘調査報告書の刊行

埋蔵文化財センターでは、発掘調査で出土した遺物等の水洗、注記から実測、製図までの整理を行い、発掘調査報告書を作成している。本年度に整理を実施した遺跡は31遺跡で、内訳は東九州自動車道が西日本高速道路株式会社事業17遺跡・国土交通省事業3遺跡の計20遺跡、その他国からの受託事業が4遺跡、県土木事務所事業7遺跡である。

また、整理作業の終了した18遺跡については発掘調査報告書を刊行した。

出土遺物等整理対象遺跡一覧

遺跡名	事業名	事業者
森ノ上遺跡	東九州自動車道（県境～北川間）建設	国土交通省延岡河川国道事務所
野地久保昌遺跡		
家田古墳群・家田城跡		
塩見城跡	東九州自動車道（門川～日向間）建設	西日本高速道路株式会社九州支社 延岡高速道路事務所
板平遺跡（4次）		
俵石第1遺跡	東九州自動車道（日向～都農間）建設	
俵石第2遺跡		
木戸平第2遺跡		
下原遺跡		
内野々遺跡		
内野々第2遺跡		
内野々第4遺跡		

遺跡名	事業名	事業者
舟川第2遺跡	東九州自動車道（日向～都農間）建設	西日本高速道路株式会社九州支社 延岡高速道路事務所
向原中尾第1遺跡		
向原中尾第2遺跡		
向原中尾第4遺跡		
岡遺跡（6・7次）		
尾花A遺跡	東九州自動車道（都農～西都間）建設	西日本高速道路株式会社九州支社 宮崎工事事務所
銀座第1遺跡（五次）		
前ノ田村上第2遺跡		
上ノ原第1遺跡	県道宮崎島之内線（産母工区）道路改良工事	県土整備部宮崎土木事務所
東光寺遺跡	県道木城高鍋線（坂本工区）道路改良工事	県土整備部高鍋土木事務所
宮ヶ迫遺跡	県道宮崎高鍋線（那珂工区）道路改良工事	県土整備部宮崎土木事務所
跡江坂ノ下遺跡	県道宮崎西環状線（松橋工区）道路改良工事	県土整備部宮崎土木事務所
働女木遺跡	地域高規格道都城東環状線道路整備工事	県土整備部都城土木事務所
坂ノ口遺跡	国道448号線（上千野～代田工区）道路改良工事	県土整備部串間土木事務所
富吉前田遺跡	国道269号線（富吉工区）道路改良工事	県土整備部都城土木事務所
平峰遺跡 （1・2・3次）	一般国道10号都城道路建設	国土交通省九州地方整備局 宮崎河川国道事務所
南久保山小堀町遺跡	一般国道218号北方延岡道路建設	国土交通省九州地方整備局 延岡河川国道事務所
飢肥城下町遺跡	宮崎地家裁日南支部新営工事	福岡高等裁判所
延岡城内遺跡	延岡拘置支所新営工事	宮崎刑務所

発掘調査報告書刊行一覧

	集	報告書名	副書名	執筆・編集者
1	194	銀座第1遺跡(五次調査)	東九州自動車道（都農～西都間）建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書64	吉野 達三
2	195	尾花A遺跡Ⅱ弥生時代以降編	東九州自動車道（都農～西都間）建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書65	竹田 享志/日高 博司/松林 豊樹 結城 修
3	196	野地久保島遺跡 森ノ上遺跡	東九州自動車道（県境～北川間）建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書2	黒木 誠司/山田 高大/飯田 博之 柳田 晴子/藤木 聡/古田 陽
4	197	前ノ田村上第2遺跡 （二次・三次）	東九州自動車道（都農～西都間）建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書66	深江 龍哉
5	198	家田古墳群・家田城跡	東九州自動車道（県境～北川間）建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書3	飯田 博之/柳田 晴子/石津 晴菜 早瀬 航
6	199	板平遺跡 （第3・4次調査）	東九州自動車道（門川～日向間）建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書3	土屋 雄毅/島木 良浩/松田 博幸 今塩屋 毅行

	集	報告書名	副書名	執筆・編集者
7	200	俵石第1遺跡	東九州自動車道(日向～都農間)建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書1	横山 正文/今塩屋 毅行
8	201	平山下原遺跡	東九州自動車道(日向～都農間)建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書2	田中 達也/川俣 唱子
9	202	内野々遺跡、 内野々第2・第3遺跡、 内野々第4遺跡	東九州自動車道(日向～都農間)建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書3	小船井 順/今塩屋 毅行 原口 耕一郎/谷口 めぐみ
10	203	跡江坂ノ下遺跡	主要地方道宮崎西環状線(松橋工区)地域活力基盤創造交付金事業に伴う埋蔵文化財発掘調査	吉本 正典
11	204	梅北針谷遺跡	都城東環状線(今町工区)地域高規格道路整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	若松 宏一
12	205	働女木遺跡	都城東環状線(今町工区)地域高規格道路整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	中田 憲治
13	206	南久保山小堀町遺跡	一般国道218号北方延岡道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書(7)	川越 宏之
14	207	東光寺遺跡	一般県道木城高鍋線(坂本工区)道路改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	加藤 徹

(4) 保存修復

保存処理室では、出土の金属製品や木製品について保存修復を行っている。本年度は、4遺跡の資料について保存修復の工程を行った。

鉄器保存修復実施の遺跡

遺跡名	主な器種	保存修復
木戸平第2遺跡	刀子など	クリーニングまで実施
中山遺跡	銭貨	クリーニングまで実施
延岡城内遺跡	銅製品	クリーニングまで実施
岡遺跡	銭貨	クリーニングまで実施

(5) 収蔵整理

① 収蔵庫(分館)

分館収蔵庫には、登録を完了した遺物や登録作業途中・待機中の遺物を収蔵している。平成22年度末における収蔵量はコンテナ8,961箱である。

② 収蔵庫(本館)

新収蔵庫には、主に本館で整理作業の終了した遺物や登録待機遺物を収蔵している。平成22年度は、コンテナ1,726箱を搬入した。これまでに搬入した分と合わせると、コンテナ11,865箱の収蔵量となった。

③ 登録作業

分館において実施している従来の登録法による平成22年度の実績は7遺跡、コンテナ148箱である。累計181遺跡、コンテナ4,942箱となった。本館収蔵庫の22年度の登録実績は16遺跡、コンテナ425箱であり、累計49遺跡、コンテナ915箱となった。平成22年度の本館と分館を合わせた登録収蔵総累計は、230遺跡、コンテナ5,857箱である。

④ 図書資料

全国から送られてくる発掘調査等の報告書や購入書籍・雑誌類を図書室に集架している。平成 22 年度は 2,070 冊の受け入れがあり、合計収蔵数は 63,659 冊になる。バーコードを利用した図書管理システムを導入しており、パソコンを用いた図書類のデータベース登録を実施している。

2 教育普及活動

埋蔵文化財に親しむ事業として「ここまでわかったひむかの歴史～講演会と遺物公開～」を年 6 回実施し、8 月には平成 21 年度に実施した発掘調査の速報会「ひむかの歴史 2010～遺跡発掘速報会～」を県立図書館で開催した。11 月には、文化財保護強調週間に合わせて、毎年恒例の「埋文センター施設公開」を本館・分館で同時開催した。

さらに今年度は、一般の方を対象に館内の遺物見学や復元整理作業の見学・体験を行う「¥0 で行く考古バックヤードの旅」を埋蔵文化財センター分館において 4 回実施した。

また、埋蔵文化財に触れてもらう機会として、遺跡近隣の住民や学校の児童・生徒を対象に発掘現場において発掘体験会を企画した。

センターが主催する事業の他に、学校や生涯学習団体等の要請に応じて、地域に出向いて行く出前講座や出前展示も実施している。

なお、分館では、常時発掘調査の成果を公開しており、遺物などの展示のほか、遺物整理や報告書作成までの作業を行う復元整理室を見学することができる。平成 22 年度の来館者は 5,277 名であった。

(1) ここまでわかったひむかの歴史～講演会と遺物公開～

年間 6 回（5、7、9、11、1、3 月）の第 4 土曜日の午後 1 時 30 分から 3 時まで分館研修室で講演会を実施している。今年度は、口蹄疫発生に伴う会場の閉館措置により、5 月・7 月の講演会を 9 月・10 月に延期して実施した。また、講演会に先立ち、関連する遺物公開を実施した。

講演日及び講演名等

開催日	講演名	講師	参加者
第 1 回 H22. 9. 4	「県境北川間の調査成果から」 森ノ上遺跡他（延岡市）	宮崎県埋蔵文化財センター 山田 高大、黒木 誠司	26 名
第 2 回 H22. 9. 25	「尾花 A 遺跡の調査成果から Part II」 尾花 A 遺跡（川南町）	宮崎県埋蔵文化財センター 松林 豊樹	38 名
第 3 回 H22. 10. 9	「弥生集落の息吹を」 前ノ田村遺跡（川南町）	宮崎県埋蔵文化財センター 黒木 俊彦	17 名
第 4 回 H22. 11. 27	「やきものが語る塩見城」 中山遺跡・塩見城跡（日向市）	宮崎県埋蔵文化財センター 田中 敏雄	28 名
第 5 回 H23. 1. 22	「次郎左衛門遺跡の調査成果から」 次郎左衛門遺跡（西都市）	宮崎県埋蔵文化財センター 松田 博幸	18 名
第 6 回 H23. 3. 26	「よみがえる古代梅北の鉄文化」 梅北針谷遺跡（都城市）	宮崎県埋蔵文化財センター 若松 宏一	29 名

(2) ひむかの歴史 2010 ～遺跡発掘速報会～

平成 21 年度に発掘調査を実施した遺跡から、地域、時代、事業などを考慮して 9 遺跡を選び、県立図書館において遺跡発掘速報会を行った。

開催日	時間	場所	参加者
H22. 8. 21	10 : 00~16 : 00	県立図書館	84名

	遺跡名	報告内容	担当者
1	俵石第1遺跡(都農町)	石のある生活	横山 正文
2	下原遺跡(都農町)	狩りと台所	田中 達也
3	内野々遺跡(都農町)	山間のキャンプ場	小船井 順
4	前ノ田村上第2遺跡(川南町)	古代の狩猟具	深江 龍哉
5	西の城跡(延岡市)	古墳の上につくられた城	早瀬 航
6	南久保山小堀町遺跡(延岡市)	お台所。。。だけ!?	川越 宏之
7	板平遺跡(日向市)	炎がもたらしたもの	松田 博幸
8	東光寺遺跡(高鍋町)	東西のモノが行き交う門前町	加藤 徹
9	働女木遺跡(都城市)	鹿児島県境みやこんじょの弥生集落	中田 憲治



担当者が遺跡についてわかりやすく解説



多くの方が、熱心に発表を聞いて下さった。

(3) 埋文センター施設公開

毎年11月第1週の文化財保護強調週間に施設公開を実施している。本年度は、11月3日(文化の日)に本館と分館の2会場で施設公開を同時に公開した。

開催日	内容	参加者
H22. 11. 3	<ul style="list-style-type: none"> ○体験コーナー <ul style="list-style-type: none"> ・本物の土器を持つての記念写真 ・実測 ・トレース ・土器の洗浄 ・土器の拓本 ・土器の接合 など ○見学・観察コーナー <ul style="list-style-type: none"> ・出土遺物公開 ・実体顕微鏡(土器圧痕や炭化種実の観察) ・収蔵庫見学など 	本館 81名 分館 163名 計 244名



本館での水洗体験



本館でのトレース体験



分館での発掘体験

(4) 出前講座

要請のあった各地域に出向いて、埋蔵文化財センター職員が生涯学習団体や小・中学校を対象とした出前講座を実施している。同時に、出前展示やセンター業務紹介も実施している。

回	開催日	時間	依頼者	内容	参加者
1	H22. 5. 12	10:20~12:00	都城市立中霧島小学校 (小学生対象)	・埋蔵文化財の仕事について ・山田町周辺の遺跡や遺物の説明	26名
2	H22. 7. 23	10:00~11:00	門川町立五十鈴小学校 (小学生対象) (宮日新聞掲載)	・遺跡の調べ方について説明 ・門川町から出土した遺物・以降の紹介 ・大昔の門川町の暮らしについて	176名
3	H22. 7. 28	10:30~12:00	日向市立美々津小学校 (教職員対象)	・学校と埋蔵文化財センター ・学校周辺及び日向市の遺跡と歴史について ・拓本の体験	9名
4	H22. 8. 5	13:15~15:00	木城町立木城小学校 (教職員対象)	・学校と埋蔵文化財センター ・学校周辺及び木城町の遺跡と歴史について ・拓本の体験	14名
5	H22. 8. 23	10:00~11:50	日章学園中学校 (中学生対象)	・埋蔵文化財の仕事について ・宮崎市内の旧石器時代から古墳時代にかけての遺跡や遺物について紹介	28名
6	H22. 9. 29	14:05~15:10	宮崎市立広瀬中学校 (中学生対象)	・佐土原城の紹介と中近世の城について ・中近世の遺物について	102名
7	H22. 10. 28	13:30~15:20	県立宮崎西高等学校 附属中学校 (中学生対象)	・県内の遺跡や遺物の紹介 ・発掘調査について	80名
8	H22. 10. 30	10:00~12:00	宮崎市立佐土原小学校 (家庭教育学級)	・埋蔵文化財センターの概要 ・展示遺物、収蔵庫の案内 ・復元整理作業の体験(拓本・接合)	26名
9	H22. 11. 17	19:30~21:00	高鍋町立高鍋東中学校 (家庭教育学級)	・埋蔵文化財センターの業務紹介 ・高鍋町内の遺跡紹介	11名
10	H22. 11. 18	13:30~15:30	門川町 (生涯学習講座)	・埋蔵文化財センターの業務紹介 ・復元整理作業の体験(拓本) ・門川南町遺跡の紹介	14名
11	H22. 11. 19	14:15~16:05	国富町立木脇中学校 (中学生対象)	・埋蔵文化財センターの仕事について ・国富町内の歴史と遺跡の概要 ・農業に関する町内の遺跡の説明と展示	55名
12	H22. 12. 10	9:35~11:15	小林市立紙屋中学校 (中学生対象)	・野尻町近隣遺跡の調査から縄文・弥生・古墳時代の生活について説明 ・復元整理作業の体験(拓本)	13名
13	H22. 12. 14	13:30~15:30	宮崎市東地区 交流センター (一般対象)	・県内の遺跡紹介 (平峰遺跡、家田古墳群・家田城跡) ・復元整理作業の体験(拓本)	8名

回	開催日	時間	依頼者	内容	参加者
14	H22. 12. 16	9:00～11:30	小林市 (ボランティア協会、 史談会会員対象)	・埋蔵文化財センターの業務について ・小林市の遺跡について ・小林市周辺の地下式横穴墓について	56名
15	H22. 12. 20	10:30～11:15	延岡市立三椏小学校 (小学生対象)	・北方町内の遺跡における旧石器から古墳時代にかけての生活について説明 ・発掘調査について説明	13名
16	H23. 3. 27	13:00～14:00	都城市下富吉地域 (一般対象)	・埋蔵文化財センターの業務について ・山之口町の歴史と富吉前田遺跡の紹介	103名

(5) 出前展示

今までに発掘した県内各地の遺跡の写真や出土した遺物などを、各地域で展示し、埋蔵文化財センターの業務内容についての理解を深める一助とすることを目的として実施している。

	開催期間	時間	場所	内容	参加者
1	H22. 8. 17 } H22. 8. 29	9:00～18:00	県立図書館	・「ひむかの歴史 2010」速報会で登場する遺跡の概要速報パネルの展示 ・これまで埋蔵文化財センターの発掘調査で出土した遺物各種の公開	602名
2	H22. 11. 22 } H22. 11. 28	9:00～18:00	県立図書館	・これまで埋蔵文化財センターの発掘調査で出土した遺物各種の公開・高速道対策局主催の県政重点施策情報発信事業「～ひとをつなぐ道 ものをつなぐ道 いのちをつなぐ道～」において高速道路路線内の発掘調査により出土した遺物の展示	3,822名
3	H23. 2. 10 } H23. 2. 19	10:00～17:00	川南町立図書館	・東九州自動車道（都農～西都間）の建設に伴う川南町内の発掘調査により出土した遺物の展示	98名
4	H23. 3. 6	13:00～16:30	都農町民図書館	・東九州自動車道（日向～都農間）の建設に伴う川南町内の発掘調査により出土した遺物の展示	67名

(6) 発掘体験

郷土の歴史への興味・関心を高め、埋蔵文化財を大切にすることを育てること、さらに埋蔵文化財センターの業務内容についての理解を深める一助とすることを目的として実施している。

開催日	開催地・内容	参加者
H22. 10. 31	向原中尾第4遺跡（日向市） (1) 現場説明 (2) 発掘体験 ・鋤簾、ねじり鎌を使用して掘削作業 ・水洗作業（向原中尾第4遺跡の遺物）	一般19名

開催日	開催地・内容	参加者
H22. 11. 11	俵石第2遺跡・木戸平第2遺跡（都農町） (1) 現場説明 (2) 発掘体験 ・ 鋤簾、ねじり鎌、移植ごてを使用して掘削作業 ※ 県教育委員会情報プログラム UMK「のびよ！みやざきっ子」で放送	県立宮崎西高等学校 附属中学校生徒 80名
H22. 12. 21	十郎ヶ尾遺跡（延岡市） (1) 現場説明 (2) 発掘体験 ・ 鋤簾、ねじり鎌、移植ごてを使用して掘削作業	延岡市立三椏小学校 児童 13名

(7) 発掘調査成果報告会

本年度は、東九州自動車道の建設に伴い発掘調査された遺跡の報告会を2会場に分けて実施した。

	事業名	開催地	期日	参加者	事業内容
1	川南町内遺跡発掘調査報告会 ※ 県教育委員会情報プログラム UMKテレビ「のびよ！みやざきっ子」で放送	川南町立図書館	H23. 2. 19	58名	東九州自動車道 (都農～西都間)
2	発掘調査報告会 in 都農町 ※ 県教育委員会情報プログラム UMKテレビ「のびよ！みやざきっ子」で放送	都農町民図書館	H23. 3. 6	67名	東九州自動車道 (日向～都農間)

(8) ￥0で行く考古バックヤードの旅

センター分館において一般の方を対象に展示遺物の解説や見学、普段は入ることのない2階収蔵庫を案内し、復元整理作業の見学や体験を実施した。

開催日	内 容	参加者
H22. 8. 27	・埋蔵文化財センターの業務紹介 ・展示品、収蔵庫の案内 ・復元整理作業の体験（拓本） ※宮崎ケーブルテレビ取材	12名
H22. 10. 22	・埋蔵文化財センターの業務紹介 ・展示品、収蔵庫の案内 ・復元整理作業の体験（拓本）	5名
H22. 12. 24	・埋蔵文化財センターの業務紹介 ・展示品、収蔵庫の案内 ・復元整理作業の体験（拓本・トレース）	2名
H23. 2. 25	・埋蔵文化財センターの業務紹介 ・展示品、収蔵庫の案内 ・復元整理作業の体験（拓本・接合）	3名

(9) 見学・研修・体験学習等の受入れ

埋蔵文化財センターや発掘調査現場の見学や研修、体験学習を取り入れる学校や教育機関が増加している。本年度は施設見学、職場体験学習等が実施され、児童・生徒や学生等をはじめ広く県民を受け入れた。

内容	場所	団体名	実施日	参加者
展示見学	埋蔵文化財センター分館	西都原考古博物館ボランティア	H22. 7. 31	25名
展示見学	埋蔵文化財センター分館	都城市立明和小学校	H22. 10. 15	69名
展示見学	埋蔵文化財センター分館	宮崎市立赤江小学校	H22. 10. 21	137名
展示見学	埋蔵文化財センター分館	川南町立川南小学校	H22. 10. 22	85名
展示見学	埋蔵文化財センター分館	都城市立上長飯小学校	H22. 10. 22	105名
展示見学	埋蔵文化財センター分館	小林市立三松小学校	H22. 10. 22	67名
展示見学	埋蔵文化財センター分館	綾町立綾小学校	H22. 10. 22	65名
展示見学	埋蔵文化財センター分館	宮崎市立広瀬西小学校	H22. 10. 29	48名
展示見学	埋蔵文化財センター分館	宮崎市立佐土原小家庭教育学級	H22. 10. 30	26名
展示見学	埋蔵文化財センター分館	宮崎市立大塚小学校	H22. 11. 12	147名
展示見学	埋蔵文化財センター分館	宮崎市立清武小学校	H22. 11. 12	123名
展示見学	埋蔵文化財センター分館	新富町立新田中家庭教育学級	H22. 11. 15	9名
資料見学	埋蔵文化財センター分館	ユーラシア冶鉄史研究会	H23 2. 26～27	55名
展示見学, 体験	埋蔵文化財センター分館	企業主催行事団体 (サマーキッズ)	H22. 8. 7	2名
展示見学, 体験	埋蔵文化財センター分館	企業主催行事団体 (サマーキッズ)	H22. 8. 17	5名
展示見学, 体験	埋蔵文化財センター分館	企業主催行事団体 (サマーキッズ)	H22. 8. 21	6名
展示見学, 体験	埋蔵文化財センター分館	企業主催行事団体 (サマーキッズ)	H22. 8. 24	4名
体験学習	埋蔵文化財センター分館	県立宮崎南高等学校	H22. 7. 27	3名
公立・小・中学校初任者研修 及び県立学校初任者研修	向原中尾第4遺跡	県教育研修センター	H22. 8. 26	22名
インターンシップ	埋蔵文化財センター本館 ・分館、宮ヶ迫遺跡	県民政策部総合政策課	H22. 9. 1～17	2名
資質向上特別研修・ 社会体験研修	埋蔵文化財センター本館 宮ヶ迫遺跡	県教育研修センター	H22. 10. 4～8	2名
教職経験10年経過研修	向原中尾第4遺跡	県教育研修センター	H22. 11. 4	25名

(10) 資料等の提供

埋蔵文化財センターでは、一般や公共機関、研究機関、研究者の利用希望に応じて、可能な限り資料を提供している。資料提供には資料調査等に係る館内利用（資料の閲覧・実測等）や館外貸出及び掲載許可申請があり、本年度は館内利用が24件、館外貸出が14件、掲載許可が3件であった。

館内利用

利用資料名	目的	利用日
音明寺第2遺跡[石器]	資料調査	H22. 4. 18
長藪原遺跡、下屋敷遺跡、上ノ原遺跡、住吉B遺跡、赤石遺跡、 赤木遺跡第8地点（第一次）[石器]	資料調査	H22. 5. 29

利用資料名	目的	利用日
天ヶ谷遺跡、東城原遺跡[遺構・遺物写真]	資料調査	H22. 7. 31
余り田遺跡[墨書土器]	資料調査	H22. 8. 4
立切地下式横穴墓群[遺構実測図、土器]	資料調査	H21. 8. 31
野首第1遺跡[鉄器]	資料調査	H22. 9. 1
長菌原遺跡、下屋敷遺跡、上ノ原遺跡、赤木遺跡第8地点（第一次） 尾花A遺跡I [石器]	資料調査	H22. 9. 25～26
立切地下式横穴墓群、旭台地下式横穴墓群[遺構実測図、写真]	資料調査	H22. 9. 27～28
下屋敷遺跡、野首第2遺跡、尾立第2遺跡、小並第1遺跡、市納上第2遺跡、 霧島遺跡、妙見遺跡、赤木遺跡第8地点（第一次）、山田遺跡[石器]	資料調査	H22. 9. 17
平田遺跡D地点[鉄製品]	資料調査	H22. 9. 30
大萩地下式横穴墓群、日守地下式横穴墓群、須木上ノ原地下式横穴墓群[遺構図面]	資料調査	H22. 10. 15
上ノ原遺跡、長菌原遺跡[石器]	資料調査	H22. 11. 12
音明寺第2遺跡、東畦原第1遺跡、中ノ迫第3遺跡、山田遺跡、 赤木遺跡第8地点（第一次）、中ノ迫第2遺跡、尾立第2遺跡、矢野原遺跡[石器]	資料調査	H22. 12. 5～6
長菌原遺跡、下屋敷遺跡、上ノ原遺跡、野首第2遺跡、前ノ田村遺跡[石器]	資料調査	H22. 12. 11～12
前ノ田村上第2遺跡、尾立第2遺跡[石器]	資料調査	H22. 12. 11～12
野首第2遺跡、音明寺遺跡、上ノ原遺跡、木脇遺跡、前ノ田村上第2遺跡、 赤木遺跡第8地点（第二次調査）[石器]	資料調査	H23. 1. 28～29
平峰遺跡(1. 2次)、中山遺跡、梅北針谷遺跡、東光寺遺跡、尾花A遺跡[羽口など]	資料調査	H23. 2. 26～27
板平(4次)遺跡、本城跡、山崎上ノ原第2遺跡、天神河内遺跡、竹ノ内遺跡、平畑遺跡、 鬼付女西遺跡、樺山郡元地区遺跡、馬場第1遺跡、学頭遺跡、古城第3遺跡、妙見遺跡、 平原遺跡、山ノ田第1遺跡、右葛ヶ迫遺跡、前田遺跡[土器など]	資料調査	H23. 2. 26～27
木脇遺跡、前ノ田村上第2遺跡、赤木遺跡第8地点（第二次調査）[石器]	資料調査	H23. 2. 26～27
下耳切第3遺跡、天神河内第1遺跡[土器]	資料調査	H23. 3. 13
天神河内第1遺跡、下耳切第3遺跡、赤石遺跡、右葛ヶ迫遺跡、上ノ原第2遺跡、竹ノ 内遺跡、上ノ原遺跡、田代ヶ八重遺跡、門川南町遺跡、上牧第2遺跡、王子原遺跡、 白ヶ野第2遺跡[土器]	資料調査	H23. 3. 11～14
熊野原遺跡、志戸平遺跡、町屋敷遺跡、下大五郎遺跡、下那珂遺跡、湯牟田遺跡、 八幡第2遺跡、赤坂遺跡、尾花A遺跡、働女木遺跡[線刻土器]	資料調査	H23. 3. 16
北牛牧第5遺跡、春日地区遺跡第2地点、山田遺跡、野首第2遺跡[石器]、	資料調査	H23. 3. 16
尾小原遺跡1次、勘大寺遺跡2次、尾立第2遺跡、前ノ田村上第2遺跡[石器]	資料調査	H23. 3. 21～22

館外貸出

貸出資料名	数量	目的	期間	貸出機関名
堂地東遺跡[土器・石器]、前原北遺跡[土器] 下大五郎遺跡[土器]、右葛ヶ迫遺跡[土器]	35点	特別展示に使用	H22. 3. 30 ～ H22. 6. 30	県立西都原 考古博物館
学習キット[縄文時代・弥生時代]	一式	社会科授業に使用	H22. 6. 5 ～ H22. 6. 19	国富町立 本庄中学校
学習キット[縄文時代・弥生時代]	一式	社会科授業に使用	H22. 6. 20 ～ H22. 6. 26	国富町立 木脇中学校

貸出資料名	数量	目的	期間	貸出機関名
山崎上ノ原第2遺跡、宇都第3遺跡、大島畠田遺跡、小山尻東遺跡、下耳切第3遺跡、竹瀝C遺跡、平田迫遺跡、平畑遺跡、筆無遺跡、宮ノ東遺跡[土師器、須恵器、鉄製品など]	64点	「企画展Ⅰ」での展示	H22. 6. 17 } H22. 9. 5	県立西都原考古博物館
木脇遺跡[石器]、塚原遺跡[土器]	12点	職員研修に使用	H22. 7. 26 } H22. 7. 29	国富町立木脇小学校
学習キット [旧石器時代・縄文時代・弥生時代・古墳時代]	一式	社会科授業に使用	H22. 8. 22 } H22. 8. 23	宮崎市立宮崎西中学校
天ヶ谷遺跡、東城原遺跡、大萩遺跡 [カラーポジフィルム]	8点	「小林の歴史展」でのパネルに使用	H22. 8. 5 } H22. 8. 31	小林市教育委員会
田代ヶ八重遺跡、虎崩遺跡、牧の原第2遺跡、横市中原遺跡、吉牟田遺跡、竹ノ内遺跡、学頭遺跡、野添遺跡 [土器、石器、玉、炭化種子]	41点	国際交流展に使用	H22. 8. 23 } H22. 12. 17	県立西都原考古博物館
宮ノ東遺跡、寺崎遺跡、余り田遺跡 [土師器]	5点	胎土分析	H22. 10. 4 } H23. 3. 31	大分市教育委員会
板平遺跡、宮ノ東遺跡、西畦原第2遺跡、西畦原第1遺跡、永牟田第2遺跡、小並第1遺跡、唐木戸第4遺跡、下耳切第3遺跡、野首第2遺跡 [土器、石器、玉など]	201点	「高速道路企画展」での展示	H22. 11. 22 } H22. 11. 29	県高速道対策局
余り田遺跡 [墨書土器]	15点	開館記念に伴う特別展に使用	H22. 11. 14 } H23. 1. 31	九州歴史資料館
下屋敷遺跡、長藪原遺跡[石器]	10点	文化交流展に使用	H23. 1. 5 } H24. 3. 31	九州国立博物館
永牟田第2遺跡 横谷遺跡 [ガラス製品など]	29点 3式	「企画展Ⅱ」での展示	H23. 1. 5 } H23. 3. 30	県立西都原考古博物館
矢野原遺跡 赤木遺跡第8地点 (2次) [石器]	100点 37点	第36回九州旧石器文化研究会熊本大会における資料展示・見学	H23. 3. 19 } H23. 3. 20	九州旧石器文化研究会
堂寺東遺跡、山ノ田第1遺跡 鶴野内中水流遺跡、志戸平遺跡 下那珂遺跡、八幡第2遺跡 赤坂遺跡、宮ノ東遺跡 尾花A遺跡 [石器、土製品など]	16点	平成23年度特別展 「日向における弥生文化の謎ー瀬戸内との間で何が起きたかー」での展示	H23. 3. 24 } H23. 7. 29	県立西都原考古博物館

刊行物等掲載（写真等資料提供）

資料名	掲載刊行物等	依頼者	申請日
下耳切第3遺跡[写真]（地下式横穴墓）	『倭国創生と阿波忌部』	個人	H22. 4. 16
余り田遺跡 [写真原稿]（墨書土器）	『開館記念 図録』	九州歴史資料館	H22. 10. 13
諸麦遺跡 [写真]（土層断面） 平峰遺跡 [写真]（竪穴建物跡）	『むかし昔の都城』 遺跡紹介ソフト	都城市教育委員会	H22. 12. 17

(11) 職員派遣

市町村の教育委員会に埋蔵文化財の専門的・技術的な指導を行い、諸機関・団体主催講演会等の普及啓発行事にも職員を派遣している。

内容	派遣期日	依頼者	派遣職員
しおんじやま学び場 「各地の古墳時代を知ろう ～宮崎・西都原古墳群～」	H22. 8. 7	八尾市立しおんじやま古墳 学習館	二宮 満夫
クリアパーク延岡関連今井野遺跡発掘調査に伴う調査指導	H22. 9. 13	延岡市教育委員会	松本 茂
平成22年度第3回宮崎県文化講座 「持田古墳群の魅力と謎」	H22. 10. 9	県立図書館	今塩屋 毅行
考古博講座「石器からみる宮崎の先史社会」	H22. 11. 23	県立西都原考古博物館	松本 茂

(12) 埋蔵文化財担当専門職員研修会

埋蔵文化財センターでは、発掘調査技術等の向上をめざし、県及び市町村埋蔵文化財担当専門職員を対象とした研修を実施している。

内容	場所	期日	参加者数
報告書作成にかかるデジタル化について	埋蔵文化財センター本館	H22. 10. 22	41名

(13) 広報出版物

埋蔵文化財保護啓発活動の一環として、埋蔵文化財センターの「事業案内」及び「埋文通信」の発行や「ここまでわかったひむかの歴史」、「ひむかの歴史2010」、施設公開等についてもポスターやパンフレット、資料等の作成・刊行を行っている。

	広報出版物	発行年月
1	平成23年度宮崎県埋蔵文化財センター「事業案内」	H23. 3
2	宮崎県埋蔵文化財センター通信 「ひむか」13号	H23. 3

(14) ホームページ

講座や報告会、発掘体験などの事業の案内・報告の内容充実、発掘情報の提供を行ってきた。

3 会議・職員研修

(1) 各種会議等への参加

独立行政法人奈良文化財研究所で実施している発掘技術者研修や全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会主催の各種会議等に職員を派遣し、職員の資質向上と業務の円滑な推進を図っている。

内 容	日 程	開催地	出席者
全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会総会	H22. 5. 27～28	山口県山口市	森 隆茂 近藤 協
第1回埋蔵文化財担当職員講習会	H22. 9. 1～3	香川県高松市	吉本 正典
全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会 中国・四国・九州ブロック会議	H22. 9. 30～10. 1	岡山県津山市	松林 豊樹
全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会 第23回研修会 多賀城大会	H22. 10. 7～8	宮城県多賀城市	菅付 和樹
埋蔵文化財担当者専門研修「保存科学Ⅱ（有機質遺物）」	H21. 10. 18～26	奈良文化財研究所	和田 理啓
全国遺跡資料リポジトリ・オープンカンファレンス	H22. 12. 17	大阪大学附属図書館	二宮 満夫
埋蔵文化財保護対策等九州地区協議会	H22. 12. 21～22	熊本県熊本市	吉本 正典
普及事業に関する先進機関動向調査	H22. 12. 1～3	兵庫県立考古博物館 滋賀県埋蔵文化財 センター 京都府埋蔵文化財 調査研究センター 奈良市埋蔵文化財 センター	近藤 協
普及事業に関する先進機関動向調査	H22. 12. 8～10	山梨県埋蔵文化財 センター 埼玉県埋蔵文化財 調査事業団 神奈川県埋蔵文化財 センター	若松 宏一

(2) 共同研究への参加

他館が主催する共同研究に職員が参加する。

内 容	日 程	参加者
九州国立博物館共同研究 「九州とは何かを考古から探る」	H22. 8. 30～31	長津 宗重
	H23. 1. 27～28	長津 宗重

(3) 労働安全衛生関係の講習会等への参加

発掘調査現場及びセンター内での安全衛生の増進を図るため、各講習会へ参加している。

内 容	日 程	参加者
地山の掘削及び土止め支保工作業主任者技能講習	H22. 6. 1～ 3	和田 理啓
安全衛生推進者養成講習会	H22. 4. 21～22	結城 修 山田 高大 橋本 清美 橋口 由佳 川越 宏之 加藤 徹
救急救命講座（救命・応急手当）	H22. 6. 25 H22. 6. 30	総務課・調査第一課・調査第二課・ 普及資料課 各職員
有機溶剤作業主任者技能講習	H22. 10. 19～20	松林 豊樹 今塩屋 毅行

VI 宮崎県埋蔵文化財センター管理規則

平成 8 年 3 月 29 日
教育委員会規則第 5 号

改正

平成 12 年 1 月 20 日教育委員会規則第 1 号
平成 12 年 3 月 31 日教育委員会規則第 8 号
平成 12 年 12 月 18 日教育委員会規則第 21 号
平成 18 年 3 月 30 日教育委員会規則第 9 号
平成 19 年 3 月 30 日教育委員会規則第 3 号
平成 20 年 3 月 31 日教育委員会規則第 6 号
宮崎県埋蔵文化財センター管理規則をここに公布する。
宮崎県埋蔵文化財センター管理規則

(趣旨)

第 1 条 この規則は、別に定めるもののほか、宮崎県埋蔵文化財センター及び宮崎県埋蔵文化財センター分館（以下「埋蔵文化財センター」という。）の管理運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(事業)

第 2 条 埋蔵文化財センターは、次に掲げる事業を行う。

- (1) 埋蔵文化財の調査研究に関する事。
- (2) 出土品その他の資料の保存及び活用に関する事。
- (3) 埋蔵文化財の調査研究に係る図書その他の資料の整備に関する事。
- (4) 埋蔵文化財関係者の専門的、技術的な研修及び指導に関する事。
- (5) 埋蔵文化財保護思想の普及及び啓発に関する事。
- (6) その他埋蔵文化財保護に必要な事業に関する事。

(組織)

第 3 条 埋蔵文化財センターに、次の課を置く。

総務課
調査第一課
調査第二課
普及資料課

(分掌事務)

第 4 条 前条に規定する各課の分掌事務は、次のとおりとする。

総務課

- (1) 職員の人事、給与及び服務に関する事。
- (2) 予算の執行及び決算に関する事。
- (3) 文書の收受、発送及び保存に関する事。
- (4) 公印の管守に関する事。
- (5) 施設及び設備の管理に関する事。
- (6) その他他の課の所管に属さない事項に関する事。

調査第一課

- (1) 東九州自動車道建設に伴う埋蔵文化財の発掘調査に関する事。
- (2) 前号の発掘調査に係る出土品その他の資料の整理に関する事。
- (3) 第 1 号の発掘調査に係る発掘調査報告書の作成等に関する事。

調査第二課

- (1) 国、県関係事業に伴う埋蔵文化財の発掘調査に関する事。
- (2) 前号の発掘調査に係る出土品その他の資料の整理に関する事。
- (3) 第 1 号の発掘調査に係る発掘調査報告書の作成等に関する事。

普及資料課

- (1) 出土品の保存処理、修復、保存管理及び活用に関する事。
- (2) 埋蔵文化財の調査研究に係る図書その他の資料の整備に関する事。
- (3) 出土品その他の資料及び埋蔵文化財の調査研究に係る図書その他の資料（以下「資料等」という。）の貸出しに関する事。
- (4) 埋蔵文化財関係者に対する専門的、技術的な研修及び指導に関する事。

(職及び職務)

第5条 埋蔵文化財センターに、次の表の左欄に掲げる職を置き、その職務は、それぞれ同表の右欄に掲げるとおりとする。

職	職務
所 長	所務を掌理し、所属職員を指揮監督する。
副 所 長 (2人)	所長を補佐し、所長に事故があるとき、又は所長が欠けたときは、その職務を代行する。
課 長	上司の命を受けて、課に属する事務を処理する。
専門主事	上司の命を受けて、専門的知識及び経験を必要とする事務に従事する。
主任主事	上司の命を受けて、複雑な事務に従事する。
主 事	上司の命を受けて、事務に従事する。

2 前項に規定する副所長の職務の担当区分は、1人を統括とし、他を業務担当とする。

3 第1項の規定により副所長が所長の職務を代行する順序は、次のとおりとする。

第1順位 統括の副所長

第2順位 業務担当の副所長

4 第1項に規定する職のほか、埋蔵文化財センターに、必要に応じ、次の表の左欄に掲げる職を置き、その職務は、それぞれ同表の右欄に掲げるとおりとする。

職	職務
副 参 事	上司の命を受けて、埋蔵文化財センターの特定の事務を掌理する。
主 幹	上司の命を受けて、埋蔵文化財センターの特定の事務を掌理する。
専門主幹	上司の命を受けて、専門的知識及び経験を必要とする埋蔵文化財センターの特定の事務を掌理する。
副 主 幹	上司の命を受けて、その相当高度の専門的業務に従事し、又は埋蔵文化財センターの特定の事務を掌理する。
主 査	上司の命を受けて、専門的業務に従事する。

(その他の職)

第6条 前条に規定する職のほか、埋蔵文化財センターに必要に応じ、技術員を置く。

2 技術員は、上司の命を受けて、技能又は労務に従事する。

(開館時間等)

第7条 埋蔵文化財センターの開館時間は、午前9時から午後5時までとする。

2 埋蔵文化財センターの入館時間は、午前9時から午後4時30分までとする。

(休館日)

第8条 埋蔵文化財センターの休館日は、次のとおりとする。

区 分	休 館 日
宮崎県埋蔵文化財センター	1 土曜日及び日曜日 2 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「休日」という。） 3 1月1日から1月4日まで及び12月28日から12月31日まで（休日を除く。） 4 特別整理期間（あらかじめ所長が定めて公示する期間をいう。以下同じ。）
宮崎県埋蔵文化財センター 分館	1 月曜日（休日に当たるときを除く。） 2 休日の翌日（土曜日、日曜日又は休日に当たるときを除く。） 3 1月1日から1月4日まで及び12月28日から12月31日まで 4 特別整理期間

2 所長は、必要があると認めるときは、前項の規定にかかわらず、臨時に同項に定める休館し、又は同項に定める休館日以外の日に休館することができる。

(入館の制限等)

第9条 所長は、埋蔵文化財センターを利用しようとする者が次の各号のいずれかに該当するときは、その入館を制限し、若しくは退館を命じ、又はその利用を中止させることができる。

(1) 公の秩序又は善良の風俗を乱すおそれがあると認められるとき。

(2) 施設、設備、備品等を損傷し、又は滅失するおそれがあると認められるとき。

(3) 所長が指定する場所以外において喫煙又は飲食をしたとき。

(4) 条例若しくは規則又は所長の指示に従わないとき。

(5) 前各号に掲げる場合のほか、埋蔵文化財センターの管理運営上支障があると認められるとき。

(資料等の館内利用)

第10条 館内において資料等を利用しようとする者は、資料等館内利用承認申請書（別記様式第1号）を所長に提出して、所長の承認を受けなければならない。

(資料等の館外貸出し)

第 11 条 次に掲げるものは、資料等の館外貸出しを受けることができる。

- (1) 国立の博物館、博物館法(昭和 26 年法律第 285 号)第 2 条第 1 項に規定する博物館及び同法第 29 条の規定により文部科学大臣又は宮崎県教育委員会が博物館に相当する施設として指定したもの
- (2) 社会教育法(昭和 24 年法律第 207 号)第 21 条に規定する公民館
- (3) 学校教育法(昭和 22 年法律第 26 号)第 1 条に規定する学校
- (4) 国又は地方公共団体の設置する教育又は文化に関する調査研究機関
- (5) 市町村立の歴史民族資料館等で宮崎県教育委員会教育長(以下「教育長」という。)が定めるもの
- (6) その他教育長が適当と認めるもの

2 資料等の館外貸出しの期間は、30 日以内とする。ただし、所長が特に必要があると認めるときは、これを延長し、又は貸出しの期間中であっても、当該資料等の返還を求めることができる。

3 資料等の館外貸出しを受けようとする者は、資料等館外貸出承認申請書(別記様式第 2 号)を所長に提出し、所長の承認を受けなければならない。

4 所長は、出土品その他の資料について前項の承認をしようとするときは、次の事項を確認しなければならない。

- (1) 貸出しを受ける目的が当該出土品その他の資料の保存及び活用にとって適切であること。
- (2) 当該出土品その他の資料の保管、展示等を適切に行うための施設及び設備が整備されていること。
- (3) 貸出しの期間中当該出土品その他の資料が適切な知識、技能を持つ者に取り扱われること。

(弁償)

第 12 条 入館者、館内利用者又は資料等の館外貸出しを受けた者は、資料等、設備又は備品を亡失し、破損し、又は汚損したときは、所長の指示に従い、その修理又は損害の賠償をしなければならない。

(委任)

第 13 条 この規則に定めるもののほか、埋蔵文化財センターの管理運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この規則は、平成 8 年 4 月 1 日から施行する。

(宮崎県総合博物館管理運営規則の一部改正)

2 宮崎県総合博物館管理運営規則(昭和 46 年宮崎県教育委員会規則第 4 号)の一部を次のように改正する。

(次のよう略)

附 則(平成 12 年 1 月 20 日教育委員会規則第 1 号)

この規則は、平成 12 年 1 月 20 日から施行する。

附 則(平成 12 年 3 月 31 日教育委員会規則第 8 号)

この規則は、平成 12 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 12 年 12 月 18 日教育委員会規則第 21 号抄)

(施行期日)

1 この規則は、平成 13 年 1 月 6 日から施行する。

附 則(平成 18 年 3 月 30 日教育委員会規則第 9 号)

この規則は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 19 年 3 月 30 日教育委員会規則第 3 号)

この規則は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 20 年 3 月 31 日教育委員会規則第 6 号)

この規則は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。

別記

様式第 1 号

(第 10 条関係)

様式第 2 号

(第 11 条関係)

資料等館内利用承認申請書

年 月 日

宮崎県埋蔵文化財センター所長 殿

住 所
申請者 氏 名
電話番号

〔法人にあつては主たる事務所の所在地、
名称及び電話番号並びに代表者の氏名〕

資料等の館内利用をしたいので、宮崎県埋蔵文化財センター管理規則第10条の規定により、次のとおり申請します。

館内利用の目的			
資料等の名称	形 状	数 量	備 考

資料等館外貸出承認申請書

年 月 日

宮崎県埋蔵文化財センター所長 殿

住 所
申請者 氏 名
電話番号

〔法人にあつては主たる事務所の所在地、
名称及び電話番号並びに代表者の氏名〕

資料等の館外貸出を受けたいので、宮崎県埋蔵文化財センター管理規則第11条第3項の規定により、次のとおり申請します。

館外貸出の目的			
資料等の名称	形 状	数 量	備 考
館外貸出期間	年 月 日から 年 月 日まで		

案内図

宮崎県埋蔵文化財センター

所在地 〒880-0212

宮崎県宮崎市佐土原町下那珂 4019

TEL 0985-36-1171 (代表)

0985-36-1172 (調査研究室)

FAX 0985-72-0660

ホームページ <http://www.miyazaki-archive.jp/maibun/index.html>

E-mail maizobunkazai-c@pref.miyazaki.lg.jp

アクセス

公共機関：JR 佐土原駅から車で10分

宮崎市街地から高鍋町方面宮崎交通バス

御殿下バス停 から徒歩で8分



宮崎県埋蔵文化財センター分館

所在地 〒880-0053

宮崎県宮崎市神宮2丁目4-4

TEL 0985-21-1600 (普及資料課)

FAX 0985-26-2634

観覧時間 午前9時～午後5時

(入館は午後4時30分まで)

休館日 年末年始 (12月28日～1月4日)

入館料 無料

アクセス

公共機関：JR 宮崎神宮駅から徒歩で10分

綾・国富・平和が丘行き宮崎交通バス

博物館前バス停から徒歩で2分



宮崎県埋蔵文化財センター

〒 8 8 0 - 0 2 1 2 宮崎県佐土原町下那珂 4019 番地

T E L 0985-36-1171・1172 F A X 0985-72-0660